



天童市長 山本信治様より賀詞が贈呈されました



発行

社会福祉法人 山形県玉葉会
 救護施設紅花ホーム
 天童市大字成生1971番地26
 0237(47)0241
 HP <http://gyokuyokai.or.jp>
 E-mail kokahome@gyokuyokai.or.jp

初出勤の日、緊張のなか駐車場で車を降りた時、利用者さんから「おはよう」と笑顔で声をかけていただきました。それだけなのですが、少し緊張感がほぐれたような気持ちを感じています。

三十年を振り返ったとき、一番に思うのは利用者さんのその時々笑顔です。一緒に洗濯した時、毎日の日課で施設の周りを散歩した時、手芸品が完成して一緒に喜んだ時、色々ありました。現在の建物や建設している時の仮住まいでは、相当の不便にもかかわらず、いつもの生活を送る笑顔で楽しんでる姿に、嬉しさを感じたものです。雪が舞い込む寒い寒い建物、狭い居室や狭い風呂場の介助、利用者さんと居室で鍋を囲んだことも良い思い出です。

ご家族のみならずには、長年に渡り、施設運営にご理解と信頼をお寄せいただき、時には多大なご協力等により、

三十年、振り返ってみれば
 いつも笑顔が

支援業務主任 萩生田 千賀子

円滑に利用者支援が行われることに感謝しております。引き続き、よろしくお願いいたします。

高齢化が進み、車椅子での生活や、介助が必要な方が随分と増えました。生活支援の一環では、ひと昔前は外出には大型バスを連ね、集団で外出することが大半でしたが、今では郊外施設の散策、娯楽施設の利用、買い物や外食等、利用者の個人の希望を優先した個別の外出機会も増え、個人の活動範囲も広がっています。生活の質もだいぶ変わりましたし、介助等の充実に加え、自立を促進する社会生活プログラム(SSIT)の訓練も更に向上して、いつか欲しいと思っています。

ホームの愛唱歌に「冷たい風が吹こうとみんなの笑顔に つつまれ歩きましょう」という歌詞があります。この歌詞のそばには「いつも笑顔が」とあります。



「一人ひとりの意見を大切に」
 ひとりあえずカラオケ
 頑張ってます！利用者会

会長の齋藤勝雄さんに伺いました

Q 活動を再開してから二年が経ちました。取り組み状況はどうですか？

A 一年目にお試しで行った事業を話し合いのうえ今年度の事業として決めました。ポウリング大会やカラオケクラブ等をつくりみなさんからは好評をいただいています。

Q 親睦を目的のひとつとしていますが、何か変化は見られますか？

A 私から見えていますが、少しまとまってきた気がしますが、説明しても全ての方が理解しているわけではなく難しいと感じているところがあります。

Q 役員のみなさんではどのような話をされていますか？

A みなさん色々な意見を出してくれます。一人ひとりの意見を聞いてからまとめることを大切にしています。

Q 困っていることは？

A 会で「ホームの周りをきれいに

にしましょう」と声掛けしていますが、ゴミのポイ捨てが無くなりません。「みなさん！キレイにしましょう！」

Q 検討中も含め新しい取り組みはありますか？

A 十一月から始めたカラオケクラブには、職員が立ち会っています。会だけで運営出来るようにしたいと考えています。それから、その他のクラブを設けることも検討中です。

Q 施設へ要望等ありますか？

A カラオケ設備の買い替えと、外食外出の企画を引き続きサポートしていただきたい。

《インタビュー感想》

二年間、利用者会のサポート役を務めました。初めてのことは何にしても大変なのですが、役員のみなさんを中心に頑張っています。活動を通じて、生活のなかに楽しみが広がり、自治的な活動がもっと増えるように職員自身の勉強も必要と感じています。頑張りに応えられるよう適切なサポートに務めたいと思います。(I)

水害訓練



クリスマス



紅白レクリエーション



調理実習



日帰り

今年の全体外出は、全利用者の方を対象にして、「ボウリング」「カラオケボックス」「動物園」のなかから希望した場所へ出かけることで行いました。ボウリングに参加した方は、ハイタッチでストライクを喜び、カラオケでは自慢の歌声を他に負けじと披露しあい、動物園では餌をあげて食べる様子にっこり微笑んでいたことが印象的です。

今回の外出は、三つの場所からひとつを選択して外出する形でしたが、参加された方からは次の行きたい先として「野球観戦」「コンサート」等の声も多く、次回への期待度は、より高いようです。これらのニーズに応えていけるように、機会づくりはもちろんです。利用者の方にとっては自己選択と自己決定の機会にもなりますので、その選択と決定を笑顔に変えていけるような支援に取り組んでいきたいと考えています。

「次も期待しています」
いろいろな場所に全体外出



お買い上げありがとうございます!

個別の事情で外出の難しい利用者さんに買物を楽しんでもいただくとうと施設で場所を提供し、地元の子童市観光物産協会様のご協力を得て、菓子類や衣類・小物等の販売を行っていただいております。昨年の二月から毎月一回のペースでお店を開いていただいております。

これまで、職員がお店に行って、本人に代わって購入することがほとんどでしたが、施設内のお店で直接商品を見て選ぶことが出来るので楽しみにも繋がりますし、次回を心待ちにしている様子です。

「今日はお店の日!」
施設のなかで
お買い物

◆**ありがとう**◆

《ボランティア・物品等》

- ☆小南よし子様
- ☆アイリスの会様
- ☆山形県民踊協会様
- ☆天童市更生保護女性会様
- ☆伊香賀登様
- ☆後藤和信様
- ☆きらめき会様
- ☆乱川婦人会様
- ☆高久久子様
- ☆向原町内会様
- ☆天童理容組合紅花会様
- ☆YCBクリスタルサウンズ様

◆**おめでとう**◆

《表彰》

- ☆山形県民福祉大会会長
一般社会福祉事業功労者
支援員 手塚 拓郎

◆**おしらせ**◆

《バザーの売上金を寄付》

夏祭りのときに開いたバザーでは、たくさんの方にお買い上げいただき、ありがとうございます。売上金の全額を「佐賀県豪雨災害義援金」として寄付させていただきました。

寄付金額 一万一千円

◆**利用状況**◆

▽令和元年十二月末日現在

■定員一一五名

■利用者数一二二名

▽令和元年七月〜十二月

■入所四名、退所三名

■一時入所※①

■十名 延二八〇日利用

■体験入所※②

■三名 延九日利用

※①対象者 生活保護の被保護者の方で一時的に保護する必要性が高い方、最長一か月
※②対象者 入所することを目的に施設内の生活を体験したい方、一〜七日間

作品紹介

《利用者》

黒坂哲也さんの折り紙



どうやって作るのでしょうか!??

こちらは

元園長の大沼利成さんの作品



数ある作品から。次回作も期待しています!

「ご家族のみなさまへ」

《面会時間》

生活支援の運営の都合上、次によりご協力をお願い致します。また、施設へのお心づけや付け届け等、何卒ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

面会時間

午前10時～11時30分
午後1時～5時



※写真・氏名等は、ご本人の承諾を得て掲載させて頂いております。

「給食だより」

《食事のあれこれ》

現在提供している食事は、ミキサー食、超きざみ食（ソフト食）、2cmきざみ食、きざみ食、常食の5種類です。塩分、脂質、カリウムの制限が必要な方には制限食を。アレルギーのある方には代替食を提供しています。体調に合わせた食事はもちろんですが、嗜好に配慮した、美味しい食事を提供できるように日々、心掛けています。

こちらは食肉じゃがソフト



編集後記

巷で流行りの某何とかpay電子決済。お得な値引きに釣られて、遅まきながら筆者も利用し始めました。使い勝手は簡単。利用者さんも使い始めれば、計算が苦手でも間違えなく食事や買い物が出て来そう。利用者のみなさんが電子決済で「得したなあ」と会話するのもそう遠くないのかも…(MK)